

川崎市「復興都市づくり」講演会において講演を行いました（2019/11/28）

テーマ：川崎市、復興都市づくり、リスクマネジメント
場所：中原区役所（神奈川県川崎市）

2019年11月28日、神奈川県川崎市にて開催された第2回「復興都市づくり」講演会において、当研究所の村尾修 教授（地域・都市再生研究部門 国際防災戦略研究分野）が講師として「川崎市の都市リスクと復興への展望」と題した講演を行いました。

川崎市では行政が中心となり積極的に防災に取り組んでおり、市民や職員を対象として定期的に講演会を主催しています。村尾教授は、2002年より川崎市の防災対策検討委員も務めており、市との連携を図って参りました。

今回は主に市民を対象として、今後30年以内に関東地方南部で起こり得るマグニチュード7クラス以上の大地震を想定し、川崎市における都市リスクや、震災により大きな被害を受けた場合にどのような復興を行うべきかについて話しました。また、国内における過去の災害の変遷を交えながら、災害をイメージすることの重要性についても述べました。

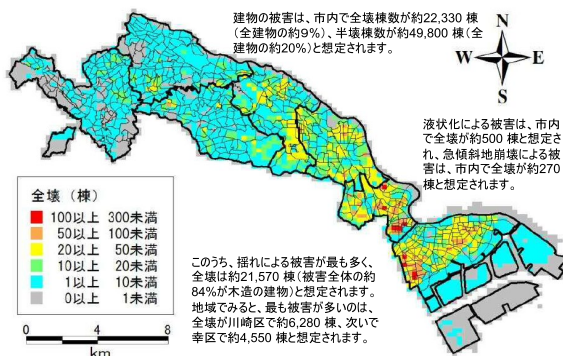
講演会には約150名の参加があり、市民の防災に関する意識の高さが伺えました。台風19号で浸水被害を受けた川崎の市民に対して、災害リスクマネジメントに関する理解を深めてもらうことが出来ました。



開催案内ポスター



講演の様子



「川崎市直下の地震被害想定」より



会場の様子